

祝 50周年

お陰様で令和3年8月
創立50周年を迎えさ
せて頂きました

かけはし

第183号

令和4年1月27日発行

解脱錬心館

令和4年新年祈願祭・伝統の寒稽古完遂！

剛 魂 健を誓う！



— 新年祈願祭 —

1月9日（日）に解脱会御霊地の天神地祇太神社殿に於て、コロナウイルス感染防止対策をとりながら、先生方をはじめ少年部・一般部門下生並びに保護者の参加のもと令和4年新年祈願祭が執り行われました。参加者は、寒さをこらえつつ声高らかに道場訓を奉唱し自らの心を引き締め、より一層の努力精進を誓い、更にそれぞれが明日からの寒稽古完遂を祈願致しました。引き続き道場に戻り、田中館長から今年一年への大切な心構えを頂き、その後一般部有志による初稽古が行われ滞りなく終了しました。

— 寒稽古 —

1月10日（月・祝）～14日（金）の夕刻に3部門に分かれて感染防止もさらに徹底し、恒例の寒稽古が実施されました。少年部の稽古は、徹底した基本を一つ一つ丁寧に確認しながら、厳しい稽古を通して毎日「自己認識・自己反省」を重ねていくことの大切さを学びました。一般部においても前半は基本稽古が実施され、それをもとに後半は相互の地稽古で爽やかな汗を流しました。今年も各学年、各世代で目標を持ち、自分自身と毎日向き合いながら気力、体力を養い、充実した寒行となりました。これも偏に先生方は勿論の事、保護者や家族の支えのお蔭であり、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。門下生諸君には、寒稽古の経験を活かし今年一年の稽古、そして生活に役立てて欲しいと願います。



行 事 予 定

《3月》

○ 館の行事

- ※現在新規入門生（第54期生）受付中 10時～17時（月曜日休館）
- 2日（水） 昇級審査会（小学生～年長）
- 6日（日） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）
- 13日（日） 創立50周年記念館内大会（記念式典・記念DVD上映・大将交代式）
8時30分集合、9時開会～11時30分閉会
※詳細は実施要項を確認下さい。
- 26日（土） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）
- 27日（日） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）
- ※稽古休み 3月12日（土）館内大会前日準備の為
3月29日（火）～4月2日（土）まで春休み

○ 大会・審査会

- 3日（木） 埼玉連月例稽古会（上尾）
- 5日（土） 六段・七段・八段受審者講習会（一般・上尾）
- 13日（日） 段位審査会（四、五段・上尾）

《4月》

○ 館の行事

- 13日（水） 第54期生・稽古開始（初心者クラス16時～）
- 16日（土） 後援会通常総会（11時～・対象・正会員）
- ※稽古休み 3月29日（火）～4月2日（土）まで春休み
4月16日（土）後援会総会の為
4月29日（金・祝）祝日の為

○ 大会・審査会

- 3日（日） 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会（午前・上尾）
- 3日（日） 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会（午後・上尾）
- 7日（木） 埼玉連月例稽古会（上尾）
- 10日（日） 剣道伝達講習会（上尾）
- 17日（日） 地区講習会（一般・朝霞）
- 21日（木） 女子剣道講習会（上尾）
- 29日（金・祝）全日本都道府県対抗剣道優勝大会（大阪）
- 29日（金・祝）六段審査会（京都）
- 30日（土） 七段審査会（京都）



昇級審査会

3月2日（水）

（詳細は2月に実施要項を配布します）

創立50周年記念館内大会

3月13日（日）

年 頭 に あ た り

館長 田中 宏明

令和4年新年明けましておめでとうございます。

昨年は、本館の活動にご理解を頂きご支援ご協力を賜りましたこと衷心より深く感謝申し上げます。門下生の皆さんには「一年の計は元旦にあり」と、今年も確かな目標に向かってその歩を進められていることと拝察致します。どうか「初志貫徹」目標に向かって一心にご精進されますようご祈念申し上げます。

一方、ご承知の通り新型コロナウイルスの感染拡大も昨年の11月には収束の兆しが少しだけ見えたように思えましたが、新たな変異ウイルスによって瞬く間に感染が拡大し第6波と言わざるを得ない状況が続いています。そのような中で、錬心館は1月9日（日）に新年祈願祭並びに稽古始めを執り行い、翌10日からは恒例の寒稽古を実施して一年の始めとしました。この厳しい状況の中で稽古が出来るということは、何よりも嬉しく有難いことでもあります。私達が当たり前と思う日常は、誰かの努力や協力があって初めて成立するものであり、決して自分だけの努力で成し得るものではありません。更に言えば、知ると知らねど多くの人達の善意や優しさ、思いやりによって今日の私があることを決して忘れてはなりません。これまで新型コロナウイルス感染症拡大によって学び得た多くの経験を基に収束に向けての努力を更に粘り強く続けていかなければと、改めて強く思うものであります。

さて、本年の3月13日には解脱錬心館創立50周年記念館内大会が予定されています。本来ならば、昨年の10月に50周年のお祝いを盛大に開催する予定でしたが、残念ながら叶いませんでした。規模は大きく出来ませんが記念の年に相応しい心のこもった館内大会になるよう後援会、OB会のお手伝いを頂きながら準備を進めているところです。どうか楽しみにして参加頂きたいと願います。それから私事で恐縮ですが、私が錬心館にお世話になったのが創立10周年の年で早いもので40年が経過しました。振り返ると忘れられない多くの子供達の顔、お父さんお母さんの顔と共に様々な思い出が走馬灯のように去来します。子供達を指導している筈が、実は子供達に鍛えられ教えられて今の私が在ると心から思えるような歳になりました。「この師にしてこの弟子あり、この親にしてこの子あり」と云われるように、弟子は師の、子は親の写し鏡です。いくら厳しく鍛えても、大きな声をあげても子供の心は動きません。師が親が、自らが手本を示すことです。「努力すること、感謝すること、挨拶すること、我慢すること、思いやること、仲良くすること、反省すること・・・等々。」大人が手本を示せば子供は必ずその通りに成長していきます。指導者は勿論のこと僭越ながら保護者の皆さんには、どうか子供達の為、そして自らの成長の為に「実践躬行」の努力を積み重ねて頂きたいと心よりお願い申し上げます。

最後に、昨年書かせて頂いたことを申し訳ありませんが確認の意味でもう一度掲載させて頂きたいと思えます。【創立30周年からこの20年を私なりに振り返ると「昨日の我に今日は勝つ」という言葉に行きつきます。柳生新陰流・柳生宗厳の遺した教えで、元の言葉は「一文は無文の師、他流勝つべきに非ず。昨日の我に、今日は勝つべし」簡単に言うと、知らないことがあったら知っている人に謙虚に学びなさい。試合に勝ったといって自慢したり天狗になってはいけない。ただ自身の成長のみを目的にして、日々人格や品性を高めていきなさい。という意味です。錬心館の目指す日本一は、日本武道館にも道場にもありません。私達門下生一人一人の心の中にあります。試合に勝っても負けても日本一の道場と云われるには、この事を私達一人一人が常に心に置いて「唯一念」努力精進していくことの他にはありません。】今一度、再確認して本年も修練を積み重ねて頂きたいと願うものであります。

半世紀の歩みに感謝し、新たな一步を踏み出した本年、後援会保護者皆さんの更なるご支援ご協力と、門下生並びにOB各位のご健康ご活躍を心よりご祈念申し上げ年頭の挨拶と致します。



☆寒稽古スナッフ特集

(写っていない門下生ごめんね!)



～お知らせ～

★1月9日新年祈願祭終了後、昨年七段に昇段された福島博久・石井宏・片岡祥子・済藤岳人先生に証書の伝達並びに記念品の贈呈をさせていただきました。
(坂元智先生には、別日に贈呈させていただきました)



沢山の方々にご協賛頂き、誠に有難うございました。

◎第55回全国道場少年剣道大会(大阪)

小学生団体 **ブロック 第2位**



解説 浅野宝仁(小6)

中堅 大野勝輝(小5)

大将 吉田貫汰(小6)

中学生団体 **ブロック 第3位**



解説 柳 瑠里(中2)

中堅 福永陸斗(中2)

大将 田中隆斗(中3)

北本 吉野一真(中1)

先鋒 石井律輝(中2)

中堅 石井夏樹(中2)

★入門おめでとうございます--

なかおまさし 中尾匡志(小4) すずきひろと 鈴木裕人(小3)

— 編集後記 —

今年も宜しくおねがいします！全国各地で感染者が再拡大しており予断を許せぬ毎日ではありますが、感染予防を徹底し今やれることを大切に今年も頑張りましょう！2月から5・4期生の入門受付が始まり、是非みなさんのロコミで門下生拡大にご協力をお願い致します。(Y)